

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

病虫害防除技術情報（第 5 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしく
お願いします。

記

1 情報の内容 トビイロウンカの発生状況と防除対策の徹底について

2 発生状況

(1) 圃場における発生状況

7 月下旬～8 月中旬の広域調査において、早期栽培では 122 圃場中 27 圃場、普通
期栽培では 208 圃場中 2 圃場で発生が認められた(表)。早期栽培の発生は、本虫に効
果の高い箱施用剤が処理されていない圃場が多いことも影響しているとみられる。

(2) 県内への飛来状況

予察灯での主要な飛来時期である 7 月末日までの飛来量はやや多で、飛来時期は
早い。また、愛南町及び西条市でも誘殺されていることから、県内に広く飛来してい
る可能性がある(愛媛県病虫害防除所 HP 参照)。

3 今後の対策と注意点

- (1) トビイロウンカに効果の高い育苗箱施用剤をしていない圃場では既に発生密度が高
まっている可能性もあることから、出穂期の定期防除は必ず実施し、発生状況によっ
ては追加防除を実施する。また、効果の高い殺虫成分を含む育苗箱施用剤を処理して
いる圃場でも出穂期の定期防除を必ず実施する。
- (2) 発生は圃場間差や圃場内でも偏りがあることから、圃場観察に努め、被害発生前の
予兆である黄化症状(写真)などを見逃さないよう注意する。
- (3) 予兆が認められた場合、収穫期が近い圃場であっても、応急防除を検討するととも
に、収穫前日数の関係等で薬剤防除が困難な場合は、可能な限り早期に収穫を行う。
- (4) 薬剤処理は、本虫が生息する稲の株元に十分届くよう丁寧に実施する。

表 広域調査におけるトビイロウンカ発生状況

作型	調査 圃場数	発生 圃場数	短翅型 発生圃場数
早期	122	27	18
普通期	208	2	0

7月21日～8月20日に県内の主産地で調査



写真 黄化症状(坪枯直前)